

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	会計学	2	芝村礼子	
平成25年度以前	会計学	2		
教職				教職
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 会計は、企業や組織を理解するための共通言語といえ、会計情報を理解することは経理担当者だけではなく、すべての社会人に役立つ知識といえる。 本講義では、企業の実際の会計情報を用いて、会計は何の為に、何を表しているのか、新聞の経済面等に記載されている内容は何を表しているのか等といった、就職活動や社会人として役に立つ会計の知識を習得することを目的とする。				言語 共通
<b>授業の概要</b> 基本となる会計の基礎、制度やルールを学び、理解した上で、実際の決算短信や有価証券報告書を用いて、何が書かれているのか、どのようなことを読み取ることができるのか、自分が分析した内容をどのようにレポートするのか、演習を重ねる。				専門基礎
<b>授業計画</b> 第1回: 会計の意義と基礎 第2回: 会計制度 第3回: 企業会計原則 第4回: 貸借対照表 第5回: 貸借対照表の比較 第6回: 貸借対照表の分析 第7回: 損益計算書とキャッシュフロー計算書 第8回: 会計情報の比較と分析 第9回: 実際の企業の会計情報を用いての演習1 第10回: 実際の企業の会計情報を用いての演習2 第11回: 財務諸表の指標の意義 第12回: 財務諸表の分析 第13回: 実際の企業の会計情報を用いての演習3 第14回: 実際の企業の会計情報を用いての演習4 第15回: 実際の企業の会計情報を用いての演習5 定期試験				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 演習
<b>テキスト</b> 桜井久勝『会計学入門(第4版)』日本経済新聞社(日経文庫)、2015年				25年度以前 経営法務コース
<b>参考書・参考資料等</b> 授業の際、計算機(10桁以上を推奨。携帯電話等についている計算機能の使用は不可)を持参すること。				
<b>学生に対する評価</b> 授業に対する姿勢、提出物、定期試験の成績との総合評価による。				